

平成25年度事業計画

1. 普及啓発事業

(1) 賛助会員の拡大

がん征圧運動に協力していただく賛助会員（維持会員）の拡大に努める。

(2) がん征圧月間運動

日本対がん協会は日本医師会との共催で9月を「がん征圧月間」と定めて全国展開し、北海道は9月10月を「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」としている。

がん征圧月間運動の具体的な取組みとして

ア. 9月のがん征圧月間の行事として、北海道庁ロビーにおいて「がん予防パネル展」を開催する。

イ. がんに関する正しい知識の普及、及びがん検診事業の拡大をはかるため、婦人団体と協力して街頭PRを行う。

ウ. 広報資料・がん関係資料を報道関係者に積極的に提供し、新聞・テレビ・ラジオ等メディアを通じてがん征圧月間のPRを行う。

(3) がん征圧全国大会

がんに関する正しい知識の徹底と早期発見のための集団検診の普及・対がん運動組織の強化をはかる事を目的として、昭和43年以来、日本対がん協会の年間最大行事として全国各地で開催されている。

北海道ではがん征圧月間の中心行事として、例年「がん予防道民大会」を開催しているが、今年は日本対がん協会と共催し「がん征圧全国大会」として札幌市で開催する。

期 日	9月13日(金)
開催場所	札幌市ニトリ文化ホール（ホテル札幌芸文館）
主 催	日本対がん協会・北海道対がん協会
後 援	厚生労働省・日本医師会・北海道・札幌市・北海道医師会

(4) 啓発セミナー

ア. がん予防学級

一般市民を対象に、がんに関する正しい知識を普及することにより、地区における活動にボランティアとして活躍されることを期待し、概ね次により開催する。

年 間 4コース（札幌1コース、旭川1コース、釧路2コース
釧路は、釧路市と帯広市にて各1コース開催）

開催場所 札幌・旭川・釧路各センター会議室など

イ. 北海道家族の健康をまもる講習会

結核予防会北海道支部、北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員団体連絡協会及び当会を含めた4団体の共催により、7月5～6日の2日間美瑛町国立大雪青少年交流の家において、がん等生活習慣病に関する講習会を開催する。

ウ. 講演会等

講演会などについては、がん征圧月間（9月）・がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーンの運動期間（10月）を重点に実施するほか、健康増進法等による健康教育の一環として市町村・事業所・町内会等の要望により随時実施する。

(5) がん対策の概況

がん対策の概況は北海道対がん協会事業の総括であることから、その内容の充実を図り各医療機関、市町村が活用できる内容に努めるとともに、年1回の発刊を行う。

(6) 情報発信

ア. 機関誌「しらかば」

北海道対がん協会の機関紙である「しらかば」の内容の充実をはかり、市町村、賛助会員の方々の情報源として魅力あるものにするるとともに、年に3回の発刊を行う。

又、広く一般の方々に見ていただく為にホームページに掲載する。

イ. ホームページ

近年、インターネットが年齢を問わず活発に利用されていることから、ホームページの充実をはかり、当会事業の積極的周知とがんの知識普及に努め、常に新しい情報の提供を行う。

ウ. メディアの活用

新聞・テレビ・ラジオ等メディア及び市町村広報等を通じてがん予防の知識普及に努める。

(7) 普及啓発の推進

ア. 地区組織との連携

がんに関する正しい知識の普及、及びがん検診事業の拡大をはかるため、各種団体・地区組織と連携を密にしていく。

イ. 企業との連携

企業との業務連携をはかり、巡回セミナー・ピンクリボン運動を推進し企業などのがんの知識普及及び検診の拡大を行う。

ウ. ボランティア団体への支援

ピンクリボン運動の活動等に取り組んでいる市民団体を支援し、その団体の協力のもと検診の拡大をはかる。

エ. 健康まつり等への参加

① 北海道健康づくり実行委員会の主催8団体の一つとして参加し広く道民に啓蒙活動を行なう。

② 各市町村が行なう健康まつり等に協力し参加者へ啓蒙活動を行なう。

オ. パンフレット、リーフレット、ポスター等

パンフレット、リーフレット、ポスター等の充実をはかる。

(8) 各種がん対策会議

がん検診事業を拡大し受診率の向上をはかるため、次の通り会議を開催する。

ア. がん対策推進会議

次年度の事業計画を円滑に推進するため、検診の精度管理など質的な面での研修を含め、保健所・市町村・事業所関係者の参加を得て開催する。

毎年3月に開催していたが、次年度に向けて早い段階での情報提供を行う事により、より良い事業計画を立てる事が可能となる為、平成25年度は11月に開催予定。

イ. 日本対がん協会 東北・北海道ブロック会議

北海道・東北6支部が集い事業推進及び協会の運営状況等について、情報交換を行う。

平成25年度は福島県で11月に開催予定。

ウ. 各センター所在市と北海道対がん協会とのがん検診打ち合わせ会議

札幌市・旭川市・釧路市のがん検診を、円滑かつ効率的に実施するために必要な事項を協議する。

(9) 受診率の向上

ア. 受診率向上委員会の充実強化

検診の受診率の向上を図るための方策について協議し、実行していく。

イ. 計画検診の勧奨

受診の動機付けとして、胃がん検診では60歳・子宮がん検診については30歳の年齢の方に、官製ハガキによる計画検診の実施を全市町村に勧奨していく。

ウ. 未受診者への検診勧奨

新聞折り込みチラシ・未受診者勧奨ハガキ・電話等を活用し、一度も受診していない方や、当年度未受診者・1年未受診者・2年未受診者・3年未受診者、無料クーポン未受診者への働きかけを積極的にすすめていく。

エ. 事業所などへの検診勧奨

事業所に積極的なアプローチを行い、健康診断をすすめるるとともに、がん検診の受診拡大を強力にすすめる。

利便性が高い各センター周辺地区・市町村・事業所に重点的に受診勧奨する。

オ. 日曜検診の実施

3検診センターで年間のべ20日程度、日曜検診を実施し、平日に受診できない人の受診拡大をはかる。

(10) 行政との連携強化

がん対策基本法及び北海道のがん対策推進条例に基づき受診率の向上を北海道と連携して推進していく。

(11) センター検診の充実

ア. センター利用のPR

札幌市・旭川市・釧路市内の町内会へ積極的に検診をPRし、センター利用の受診拡大をはかる。

イ. 人間ドックの受診拡大

従来の標準コースに加え、CT等精度の高い人間ドックコースを新設し、受診勧奨を積極的に行っていく。

ウ. ホームページからの予約

インターネット予約を活用し、パソコンやスマートフォンなどを利用した予約により、さらに受診者の利便性を高めていく。

(12) その他

ア. がん電話相談事業

がんに対する不安・悩み・疑問など関心を抱く人々からの相談に応じるとともに、がんに関する正しい知識の普及に努める。

イ. 小舟会事務局（全国よるこびの会北海道支部）

会員相互の親睦・健康回復の実践を促すことを目的に設立されたがん患者会の事務局を設置している。がん予防の普及啓発・がんを語り合う会・研修会等の活動を行う。

ウ. 禁煙運動への参加

北海道禁煙週間実行委員会に参加して、WHOが提唱する世界禁煙デーを中心とする諸行事に参加・協力する。

エ. リボンムーブメント（大学生の子宮頸がんの啓発活動グループ）の活動協力

グループのメンバーの知識普及のための研修会等の協力をおこなう。

2. 集団検診事業（H25年度計画数）

I. 集団検診事業総括表

（単位：人）

部位別	センター別	H.24年度	H.25年度	札幌	旭川	釧路
		合計	合計			
胃がん	検診車	99,725	89,600	46,300	28,000	15,300
	検診センター	33,165	31,200	18,000	9,000	4,200
	計	132,890	120,800	64,300	37,000	19,500
子宮がん	検診車	25,865	23,600	11,830	8,160	3,610
	検診センター	51,665	45,290	26,000	14,340	4,950
	計	77,530	68,890	37,830	22,500	8,560
乳がん	検診車	22,920	22,330	11,180	7,740	3,410
	検診センター	52,900	47,340	28,160	14,000	5,180
	計	75,820	69,670	39,340	21,740	8,590
肺がん	検診車	72,170	69,220	26,600	26,220	16,400
	検診センター	30,510	29,060	15,750	8,900	4,410
	計	102,680	98,280	42,350	35,120	20,810
大腸がん	検診車	90,780	83,480	46,100	23,750	13,630
	検診センター	39,400	38,950	21,650	11,950	5,350
	計	130,180	122,430	67,750	35,700	18,980
小計	検診車	311,460	288,430	142,010	93,870	52,350
	検診センター	207,640	191,840	109,560	58,190	24,090
	計	519,100	480,270	251,570	152,060	76,440
前立腺がん	検診車	9,300	9,070	3,800	2,600	2,670
	検診センター	3,700	3,540	2,040	800	370
	計	13,000	12,610	5,840	3,400	3,000
特定健診	検診車	40,240	36,490	14,700	13,300	8,490
	検診センター	10,650	10,950	7,700	1,900	1,350
	計	50,890	47,440	22,400	15,200	9,840
定期健康診断	検診車	3,650	3,470	1,350	900	1,220
	検診センター	5,700	5,530	3,380	300	1,850
	計	9,350	9,000	4,730	1,200	3,070
全国健康保険協会 管掌健康保険	検診車	250	270	50	170	50
	検診センター	5,230	5,420	4,000	750	850
	計	5,480	5,690	4,050	740	900
人間ドック	検診車	-	320	-	320	-
	検診センター	2,930	2,820	2,000	540	280
	計	2,930	3,140	2,000	860	280
骨検診	検診車	1,500	2,403	800	801	802
	検診センター	13,500	12,050	8,900	2,300	850
	計	15,000	14,453	9,700	3,101	1,652
超音波検査 (婦人科)	検診車	20,610	18,380	7,920	7,700	2,760
	検診センター	49,810	43,400	24,300	11,900	4,300
	計	70,410	61,780	32,220	22,500	7,060
超音波検査 (腹部)	検診車	-	-	-	-	-
	検診センター	3,000	3,150	3,150	-	-
	計	3,000	3,150	3,150	-	-
小計	検診車	75,550	70,403	38,150	25,791	15,992
	検診センター	94,510	86,860	55,470	21,210	10,180
	計	170,060	157,263	84,090	47,001	26,172
合計	検診車	387,010	358,633	170,630	119,661	68,342
	検診センター	302,150	278,700	165,030	79,600	34,270
	計	689,160	637,333	335,660	199,061	102,612

※肺がん計数にはヘリカルCTを含む

II. 精密検査等事業

部位別	センター別	合計	札幌	旭川	釧路	
精密検査	胃がん	6,700	4,000	1,900	800	
	子宮がん	780	220	400	160	
	乳がん	検診車	450	300	150	-
		検診センター	1,910	700	1,200	200
	肺がん	1,250	380	670	200	
大腸がん	2,790	1,900	540	350		
計	13,880	7,500	4,860	1,520		
細胞診受託検査		8,100	2,500	4,700	900	
組織診受託検査		130	60	20	50	

3. 調査研究事業

(1) 細胞診センター

ア. 細胞診・組織診検査並びに免疫学的便潜血反応検査及び生化学・血液・生理検査等について、精度の高い検査を維持する。

イ. 大学等の委託を受け学生の実習の受け入れに協力する。

(2) 学会研修

日本消化器がん検診学会北海道支部の主催する医師・放射線技師・保健師等の合同学会に参加・協力する。

また、職員の資質の向上をはかるため、各種学会・研究会に参加する。

(3) 厚生労働省「がん対策のための戦略研究事業」

「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」の研究団体として引き続き参加する。

平成24年度で比較試験の検診は終了するが、精度の高い研究データ取得の為、調査票での乳房健康調査を実施する予定。

(4) 研究事業

子宮頸がん検診受診者の内、同意を得られた方に対して、細胞診に加えHPV DNA検査を併用実施し、これにより子宮頸部病変の検出における、HR-HPVの検出または遺伝子型16型/18型判別の有用性を検討する事を目的として行う。

研究名	「北海道におけるHPV併用検診臨床研究」
研究統括責任者	北海道大学大学院 医学研究科学婦人科学分野 櫻木範明教授
研究実施医療機関	北海道大学・札幌医科大学・旭川医科大学・北海道対がん協会

(5) がん検診推進事業

厚生労働省の事業である女性特有のがん検診推進事業及び働き世代への大腸がん検診推進事業の無料クーポン（20～40、40～60歳の5歳刻み）配布に伴い、子宮がん、乳がん、大腸がんの知識普及、検診の拡大を積極的におこなう。